

令和 6 年度 立川市西砂学習館運営協議会会議録（第 11 回）

日 時：令和 7 年 3 月 11 日（火曜日）午後 6 時 00 分～午後 8 時 45 分 （敬称略）

出 席：大橋 加藤 広瀬 内金崎 長谷川 岩元 森

欠 席：小笠原 杉之原 小林 能村

傍 聴：無し

事務局：高野 俣本

1 開会のあいさつ

大橋：昨日は東京大空襲から 80 年、本日は東日本大震災から 14 年が経った。最近では岩手県大船渡市の山火事もあり色々なところで火災が起きている。先日、NHK のプロジェクト X で震災の翌日から炊き出しをしている女性の番組があった。炊き出しの場面では湯せんでお米を炊いておにぎりを作っていた。今回の防災食講座は参加者が少なかった。参加者が少なくても講座の内容を掲示し色々な人に見てもらえればと思う。講座の内容を多くの人に知ってもらうことも地運協の役割と思う。

2 令和 6 年度地域活性化講座について

（1）「にしすな親子塾」報告について

非常時の防災食作りについて

高野：キャンセルがあり 2 組 4 名の参加だった。今後は周知を早めにする。アンケートはほぼ満足であった。

加藤：最初はメニューが多く心配だったが実際の内容は良かった。以前実施した時は参加者が結構いた。今回の内容は即効的な感じを受けた。

広瀬：キャンセルがあり参加者が 2 組 4 名で寂しい。人集めの点は反省しなければならない。講師は何でもできる方でアシスタントもたくさんいた。内容は面白かった。参加者が定員の半分のいなかったら中止することも考えなければならないと思う。

岩元：大きな原因は周知が遅かったこと。1 か月以上前にはお知らせが大事。今回は参加者が多くいたら統率ができるか心配だった。即効的な内容は参加者が少なかったからであったのか。アドリブが多かった。

森：内容自体は良かった。だからこそ残念だったことが色々あった。当日は行き当たりばったりであった。アドリブが多いと講座としてきっちりできない。にしすな親子塾は、児童館とのコラボ企画で始まった。西砂学習館での実施で大変だった内容を「にしすな親子塾」として企画することはどうなのかなと思う。今回はメニューを絞り参加が 2 組だからできた。周知する期間は短かった。私達が主体になり講座を進めることが大事と思った。講師の皆さんが一生懸命お手伝い、片付けをしてくださった。

大橋：講座の参加者数は少なかった。講座の内容は一人でも多くの人に知ってもらいたい。西砂学習館まつりの展示では防災食のレシピを掲示したい。

森：内容はシンプルにご飯とみそ汁だけで良い。講座としてやらなくても、サマーイベント内の実施でも良いと思う。

加藤：事前に講座の内容が分かっていたら良かった。

高野：内容は講師と事前の連絡をしていたが当日の変更があった。

長谷川：お菓子のじゃがりこが食事になるのかと感心した。

（２）その他

高野：来年度は大きな動きがあり西砂学習館も影響が大きいと思われる。令和 7 年 12 月に西部連絡所がなくなる。砂川学習館は 9 月に完成予定。それに伴い移管作業が入る。私が異動対象候補となっている。7 年度の講座スケジュールをある程度決めたい。

内金崎：連絡所がなくなるのはニーズが無かったからなのか。

高野：そういうわけではない。DX 化に基づき窓口を整理することになった。

内金崎：ここから市役所まで行くのが大変とお聞きする。困る方が多くなるかと思う。

高野：期日前投票所があるのでニーズはある。

岩元：西部連絡所ではできることが少ない。マイナンバーカードも扱えない。

高野：数字にできない窓口相談は多い。ちょこっと共済、都営や市営住宅の問い合わせは多い。

3 協議、報告及び連絡事項

（１）前回の議事内容の確認（議事録）

大橋：何かあれば事務局まで。

（２）地域学校コーディネーターとの連携について

○地域学校協働本部連絡会について（報告）

- ・開催 令和 7 年 1 月 23 日（木）午後 6 時 30 分から 立川市役所 101 階会議室
詳細は、3 月 19 日に開催される情報意見交換会で取り上げる

○地域学校コーディネーターとの第 3 回情報意見交換会について

- ・日程 令和 7 年 3 月 19 日（水）午後 6 時 30 分から 会議室

（３）「西砂学習館まつり」について

- ・第 1 回実行委員会 令和 7 年 4 月 9 日（水曜日）午後 1 時 30 分 視聴覚室

*展示、舞台発表会、催し物等、運営全般について

今後の予定

- ・振り返り会（第 3 回）令和 7 年 6 月 18 日（水曜日）午後

高野：地運協の展示では防災食 PR ができればと思う。

（４）令和 7 年度に向けての具体的な講座内容について

※地域活性化講座実施に向け、学習館の形状確保も含め、実施日 4 か月前に企画案が固まるのが望ましい。別紙参照

○ 西砂サマーイベント～夏休みは学習館に行こう！～

- ・別紙参照

高野：火曜日は西砂学習館の利用率が高く木曜日は寿教室がある。水曜日午前、金曜日午後は利用率が高い。サマーイベントでは 3 部屋を午前と午後で確保している。

岩元：夏は暑いので夏休みにする団体もあると思う。木曜日への変更は良いと思う。

長谷川：猛暑だと子ども達は外で遊べない。8月の火曜日は学習館の予約は難しいとしてしまうのも良い。

大橋：10年近く火曜日に実施している。今回は火曜日に実施する。

岩元：8月12日はお盆なのでお休みが良い。

→(7/22,) 7/29、8/5、~~8/12~~、8/19、8/26

○ 西砂ウインターイベント～冬休みも学習館に行こう！～

・サマーイベントを参考に計画

→12月26日金曜日

○ にしすな親子塾

・3月は子ども向け行事も多く、時期の検討が必要

広瀬：サマーイベントとウインターイベント以外の講座は時間をかけて見直しをしたい。

高野：講座実施の4か月前には決めていただきたい。

大橋：会場は西砂児童館が多いが西砂会館で開催をしたこともある。年度内に2講座できれば良いと思う。最初は簡単な軽食を食べたがコロナがなくなった。

広瀬：コラボでやる以上は西砂児童館で開催したい。西砂児童館でできることをするのが良い。

長谷川：西砂児童館は来年度もワーカーズコープが管理者か。

高野：来年度はワーカーズコープ。契約変更は令和8年とのこと。

大橋：開催の会場は児童館で考えていく。

高野：改修、その準備もあるので確認が大事。

○ 西砂川での災害を考える

・3月の防災食を依頼した際、6月の開催を打診しているが過去、主な開催は11月。

11月に変更も可能。第3回で実施した避難所運営が更新したので開催はどうか。

大橋：加藤委員と1月11日に幸学習館で開催された「頼る防災から自立する防災へ」の講座に参加した。実際の避難所では運営ができる状況ではないというお話をされていた。防災に関心の強い住民が避難所運営のノウハウを知り、避難所運営ができる組織を作っていかなければならない。

加藤：自治会の防災担当者を対象にしていたが、実際、防災担当者は1年ごとに変わってしまいノウハウも継承されていない。

内金崎：自治会によっても意識の差がある。自治会を絞ってコラボで企画するのも良い。実績を作り、少しずつ波及する方法も可能。

広瀬：西砂学習館として防災講座を開くのが良いのか。自治会がやらなければいけないテーマなのではと思う。学習館としては子ども、高齢者、新しい住民を考えていかなければと思う。

加藤：防災は全体の問題。問題があるのは間違いない。

高野：防災を考える初めの一歩として考えると、考え方としてある。対象を絞り学習館として取り上げるのはあるので地運協として防災を取り上げて良いと思う。

広瀬：事業予定に防災関係は無い。

高野：防災は地運協で確立されているのでダブって行うことはない。

広瀬：防災は市全体の問題なので、地運協より大きい組織がやるのではないかな。

加藤：問題意識を持つことが大事。

森：この地区でも置かれている状況は全然違う。避難所も西砂小、松中小、七中があり、学校が違っただけで環境が違う。その中でどうしたら良いか。同じ環境にいる人同士が話さないと盛り上がりがない。情報の共有は同じエリアでできると良い。例えば自治会を対象とした時に避難所ごとにグループを分けて、HUG みたいなものを毎年行い 1 人は参加してもらおうと繋がる。

加藤：その通りで自治会がどの程度動けるか大事。

岩元：学習館を地域の拠点として考えた時、災害や避難所運営について学びを得ても実質的に学んで良かったと思わないかなと思う。拠点として学習館があれば、テーマを絞り、自治会、地域住民が中心になり、どうしようと考えていくことが必要。来年度の防災は自治会にお任せし、地運協は多文化共生にシフトしても良いかなと思う。

防災は一人一人が自分の身に当てて考えられると良いが、どうも他人事に見えてしまう。限られたものを考えると自治会にお任せするのが良いかなと思った。避難所は収容に限りがあり皆が入れるわけではない。災害も地震なのか水害なのかイメージがわからない。

内金崎：地運協は月に 1 回の開催なので、新しいものを企画すると削るものを決めないと許容範囲を越えてしまう。

岩元：知識は興味があればいつでも手に入る時代。ここでしかできないことは、情報交換の場の提供がより地域が活性化すると思う。

森：防災は大事。サマーイベントでも子どもに行った。未来に託す防災というかたちで、サマーイベントで子供対象に行うのも良い。

大橋：サマーイベントで子どもに対する防災を設けることは可能。

高野：1 小で総合防災訓練を実施している。教室を全部使い、学区の全 15 自治会が参加する。1 度見学すると面白いと思う。

○認知症講座

- ・認知症講座の位置づけと同様に今回フレイル予防を提案としたい。

大橋：継続、脳への刺激が大事。

岩元：認知症講座とフレイル予防を分けることはない。

内金崎：予防として体を動かす時間を多くするなど調整はできる。前回と同じ内容で願います。

岩元：以前お手伝いいただいた方であれば、かみすな地域包括支援センターで連絡がとれると思う。

大橋：講師、部屋の空き状況を確認し進める。

○西砂川をもっと知ろう

- ・講師は、旧民俗の会の方が多く。過去は、4 月 1 回、11 月 3 回、2・3 月各 1 回、3 回講座では、2 年連続秋を中心に、座学 6 回、散策 2 回の講座実施。

高野：民俗の会が解散。豊泉さんへの連絡は早めにと言われている。夏の実施は厳しい。

大橋：何をしていただくか。

森：同じ内容でも良い。

高野：個人的に殿ヶ谷や中里の名所の由来が知りたい。

大橋：フィールドワークの様子を映像として保存できると良い。

高野：平和人権 P で宮崎さん映像は残っている。

森：砂川学習館に砂川闘争の写真を展示するコーナーがあった。そのようなコーナーがあると良い。

大橋：映像として残すことが必要だと思う。

広瀬：内容は同じでも良い。基本的な話しでも新しい住民は知らない。

大橋：新しい住民が地域に何を望んでいるかが気になる。学校を会場に 100 人くらい集まる竹とんぼ大会を開催し、新しい住民が何を望んでいるかアンケートをとれると良い。

長谷川：新しい住民というより子育て世代と打ち出すと良い。

大橋：地域の声を拾う機会になると良い。大根田さんが八小で竹とんぼ大会を行っている。可能なら考えたい。

内金崎：地域で何が必要なのかある程度把握し、ニーズに合わせて実施するのが大事。

大橋：体育館は 1 か月前に申請すればお借りできる。

広瀬：七中の体育館は新しい。

大橋：豊泉さんには早急に連絡する。フィールドワークの都市型農業、畜産の内容は良かった。

○その他

大橋：多文化共生は料理やお話を聞くなど色々なやり方がある。

加藤：西砂学習館では TIFA（日本語教室）が活動している。

内金崎：日本語教室に初めて参加した。冬になると人が減り、多いと 20 名は集まるとのこと。

森：テーマをどうするか。文化を学ぶのか、実際に住んでの問題なのか。

加藤：ユネスコで具体的に行っている。テーマが大事。

大橋：多文化共生も考える。食は入りやすい

（５）各委員から報告及び連絡事項（報告）

加藤： 2 月 25 日号広報たちかわの表紙に森委員が載っている。3 月 29 日は立川ユネスコセミナーで「未来に伝え残したい立川の歴史遺産」を開催する。防災の話では能登地震で避難先に水が無いことが問題となっていた。地域住民が井戸を掘ったとニュースにでていた。立川市には井戸がある小学校がある。災害時用に使えるように市に要望をしているが、市からはプールの水があると言われている。立川災害ボランティアネットとチームを作り活動を進めている。

広瀬：東京大学を卒業された上野千鶴子さんと本田由紀さんのお話をお聞きした。上野さんは老後の暮らし方、本田さんは教育のことについての内容だった。大変な時代になっていると感じた。

内金崎：2 月 22 日講演会「不登校を一緒に考えてみませんか？」を天王橋会館で実施。お父さんの参加が多かった。なかなかお父さんが話す場所がないという話になった。2 月 28 日は上砂エリアで立ち上がった不登校の親の会の 1 回目があった。参加者 7 名ほど。自分の子どもとの

向き合い方のお話し合いをした。今後月 1 回第 4 金曜日に開催予定。

長谷川：2 月 28 日の風が強い日に麦踏みを行った。2 月 22 日は体育会 50 周年式典に出席。3 月 7 日青少健理事会にて青少健選考委員会が発足した。3 月 14 日に選考委員会第 1 回目がある。3 月 1 日放課後子ども教室の餅つき大会を行った。

岩元：2 月は学校運営協議会に参加した。地域学校コーディネーターとしては特に無い。七中の体育館が新しくなり落成記念式典が 3 月 20 日にある。前日は七中卒業式がある。不登校の子どもの支援をしている。1 人 1 人状況が違うので先生は大変だと思う。令和 7 年 4 月に多摩地区初のチャレンジスクール東京都立立川緑高等学校が開校される。新しい教育体制が少しずつできている。

森：2 月に 3 日間のエクセル講座が無事に終わった。2 月 15 日は地域学習館運営協議会交流会に参加した。西砂の頑張りを皆さん知っていて質問をされた。こちらもお聞きしたいことがあったが時間が限られていた。3 月 4 日、5 日は市民企画型講座を行った。初めて 10 代の方が参加された。幅広い年代に受け入れられた講座ができて嬉しく思った。

俣本：2 月 5 日、12 日はシリーズ発達障がい「ママの立場で」の講座を実施。参加者から、このような講座は柴崎やこども未来センターでの開催が多いのでこの地域で実施してくれ嬉しかったといわれた。

高野：東京都と総務省のスマホの使い方講座を全 5 日間実施した。施設関係は警報機が一部故障していて修理をした。来週は人事異動がある。

（6）その他

※松中小学校の出張ミニ展覧会が 2 月 18 日（火曜日）から 2 月 25 日（火曜日）（24 日休館日）まで、学習館 1 階ロビーにて開催。

※その他

◇ 各学校関連の主な予定（3 月、4 月初旬の予定 変更の可能性あります）

西砂小学校	松中小学校	立川第七中学校
安全指導 3/4（火曜日）	3/12（水曜日）	3/4（火曜日）
終了式 3/24（月曜日）	3/24（月曜日）	3/25（火曜日）
卒業式 3/25（火曜日）	3/25（火曜日）	3/19（水曜日）
始業式 4/7（月曜日）	4/7（月曜日）	4/7（月曜日）
入学式 4/9（水曜日）	4/9（水曜日）	4/8（火曜日）

高野：学社一体の一環で検討し、松中小学校の出張ミニ展覧会を 1 週間行った。センター全体に周知した。広がると良い。

5 その他

○ 次回の地域学習館運営協議会の日程について

※ 次回開催；次回は、令和 7 年 4 月 11 日（金曜日）

<配布資料>

- ・〈資料 1〉令和 6 年度西砂学習館事業予定
- ・〈資料 2〉令和 7 年度年間活動計画予定表